

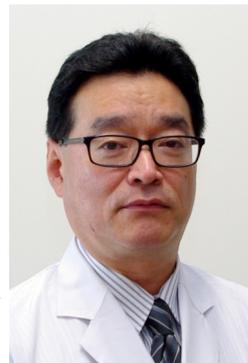


◆巻頭言 脳神経センター長 池田 尚人

春のおとずれと共に昭和大学江東豊洲病院も開院3年目に入りました。開院当初は、ただ目的地を目指し滑走路を直走り、そして今は水平飛行に入ったところかもしれません。今丁度、目的地や高度の確認と調整をしているところです。

脳神経外科は、脳神経内科とともに神経救急をテーマに地域の中核的病院を目指しております。神経救急とは、脳卒中、神経感染症、慢性神経疾患の急性増悪、頭部外傷、意識障害およびけいれん等に代表される脳神経系の救急疾患の総称です。従来神経疾患には適切な治療法がないものが多く、行うことも限られていました。しかし最近、脳卒中等の疾患では急性期あるいは急性増悪期の治療法が開発され、急性期を凌げばその後の治療に期待が持てることが増えてきました。この意味で急性期治療の意義が以前より増して重要となっています。当院の構造は、正に急性期治療のために機能的に設計されております。その中で経験豊富なスタッフと共にチーム医療（褥創、栄養、嚥下、リハビリテーション）を活用し、内科・外科の垣根を外した当センターでの長所を生かしながら24時間、365日急性期治療にあっております。

少し前までは治療は総合病院が全ての治療を行うものでした（病院完結型医療）。しかしここでも技術の進歩、専門性の細分化さらには医療資源の窮迫により地域で治療を行う体性へと医療環境は変化しました（地域完結型医療）。当院の特徴である「患者サポートセンター」の機能を十分に活用し、急性期治療のその後を調整することで「病気で失った日常」を少しでも取り戻せるようさまざまな連携、社会システムにも着手しております。今年は、更に皆様の期待に応えられるよう問題点を拾い上げ、改善を繰り返すことで理想的な完成型を目指します。



昭和大学江東豊洲病院地域連携講演会を6月18日（土）に開催させていただきます。



昭和大学江東豊洲病院

第24号のトピックス

- 巻頭言 脳血管センター長
脳神経外科 池田教授
- 祝膳について
- ベスト研修医紹介
- 院内コンサート報告

◆祝膳 栄養科 青塚 光希

「女性と子どもに優しい病院での出産にふさわしい、記憶に残る食事」として、昭和大学系列病院で、初めての「産科祝膳」が江東豊洲病院の開院と同時に誕生しました。

この「祝膳」は、産婦人科大概准教授、周産期センター師長、助産師、栄養科、給食委託会社が繰り返し行った打ち合わせや試食会でメニュー内容・アンケート用紙・食器・カトラリーに至る1つ1つを決定しました。

祝膳は退院される前日の夕食に提供しています。出産された翌日にベッドサイドに伺い、料理を選んでいただけます。その後食材の発注・調理となりますが、この一連の業務を3日で行っています。



青塚管理栄養士（右）

メニューは洋風に統一し、一部選択形式で、生ハムとスモークサーモンの前菜、季節のサラダ（ドレッシングが和風か洋風）、パンかご飯、メイン料理は「牛肉の赤ワイン煮」か「魚介類のアクアパッツァ」、季節の果物盛り合わせ・食後の飲み物（コーヒーまたは紅茶、ルイボスティー）の6品になります。白磁の食器に美しく盛り付けられたお料理は、外食のコース料理としても十分通用する内容になっています。また、食事につけているお祝いメッセージカードも喜ばれ、お料理を召上られた方々からは「おいしかった」とのコメントを多数いただいています。



開院からまもなく2年になりますが、2016年2月までに江東豊洲病院で産声を上げた赤ちゃんは620名、祝膳提供数は延べ535食になりました。

「祝膳」が、当院での出産の佳き思い出の1つとなりますよう、これからはご家族の皆様にも提供できるよう、献立内容・サービスの改善に努めて参りますので、ご理解、ご協力をお願い致します。

◆ベスト研修医紹介 研修管理委員長 深貝 隆志

3月25日、他の研修医の模範となり、医学の修練に努めた研修医を「ベスト研修医」とし、選出した石田幸子研修医の表彰を行いました。当院の開院は平成26年3月24日であり、表彰された研修医は、その翌月の平成26年4月入職の第2期生です。全4名の研修医が今日まで医療の現場で研修を行ってきました。開院間もない状況から、病院とともに成長してきました。2年間の研修を修了し、ついに一人の医師として医療に従事していきます。

昭和大学では「至誠一貫」という建学の理念に基づき、患者さんに対して、誠意を持って医療に携わることを大切にしています。医療に現場に立つ際には、「至誠一貫」を忘れることなく、医師として医療に向き合い、貢献することを期待しております。



表彰のために1名の研修医を選出しましたが、4名全員が精一杯、患者さんや医療と向き合った2年間でした。当院で学んだことを忘れずに、これからの活躍を祈願しております。

最後に、4名が無事に研修を修了できたのも、本人の努力はもちろんですが、患者さんをはじめ、指導医や地域医療機関の皆様による多大なご支援ご協力の賜物です。当院には平成27年4月入職の研修医が10名在籍しており、平成28年4月には9名の研修医が入職予定となっております。大学病院の役割は「臨床」、「研究」、そして「教育」です。当院の発展には、研修医たちの若い力が不可欠です。学びの場として教育を受けていく際には、今後も多くの研修医が皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、研修医たちおよび医療の発展のために、何卒よろしくお願い申し上げます。



◆院内コンサート報告

3月27日（日）午後3時より、当院1階タリーズ前にてスプリングコンサートが開催されました。今回のコンサートは坂爪いちお氏でカンツオーネ分野では数々の部門の賞を受賞されている歌手です。当日はもうすぐ春が来るという気候でした。入院患者さん、外来患者さん（通院）、近隣のマンションの住民の方々等90名の聴衆の中、丁寧なレッスンと素晴らしい歌を披露していただきました。中でも、あなたに会えて良かったが大変印象に残った曲として挙げられていました。



編集後記 西 健

感染性腸炎、インフルエンザの流行などが猛威をふるった冬も終わり、暖かくなってきて新しい年度をむかえようとしています。

当院もこの3月で無事に開院3年目を迎えることが出来、江東地域の医療体制に少しずつなじんできているのを感じつつ日々過ごしております。

4月からは花粉と戦いながら、新しいスタッフを迎え入れ気持ちを新たに診療をしていきたいと思っております。

皆様も体に気おつけてお過ごしください。



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38

TEL03-6204-6000（代表）

発行責任者：新井一成 編集責任者：長谷川真



Showa University Koto Toyosu Hospital